

編集後記 感動いっぱい



アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

http://www.avenir-sr.jp

E-Mail avenir4you@gmail.com

パリオリンピックでは、感動がいっぱいありました。

個人的には体操男子団体の金メダル。日本チームだけではなく、

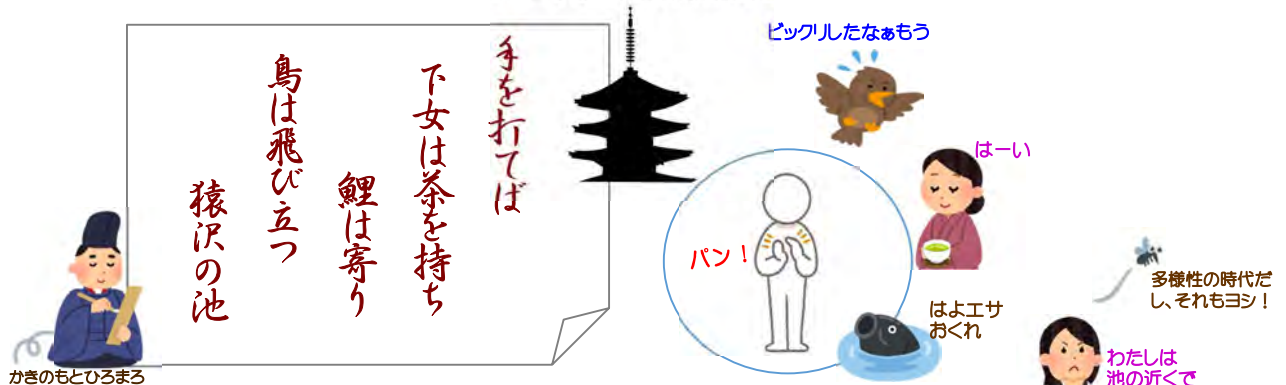
逆転されて悔しかったはずの中国チームが勝者をリスペクトする態度にも感動を覚えました。

世紀の大指揮者フルトヴェングラーは「**感動とは人間の中にではなく人と人との間にあるものだ**」

という名言を残しています。感動はいつも他者との関係性の中で感じるものですね。(^^)

でも、誰もが同じものを見て同じ感動を覚えるわけではありません。

表紙の写真は奈良の猿沢池ですが、その猿沢池にまつわるこんな歌があります。



手を叩くという行為一つでも、それぞれによって受け取り方は違うのだよ、ってこと。

しかもこれからは多様性の時代。考え方や価値観は今よりずっと千差万別になることでしょう。

でも、少なくとも同じ会社で仕事をするという点では、みんなの気持ちを揃える必要があります。

中央最低賃金審議会は、令和6年度の地域別最低賃金額改定について47都道府県で一律**50円引き上げる**

という目安を示しました。各地方の最低賃金審議会では、その目安の引き上げ額を参考にしつつ

50円～59円アップでの答申が出ているようですが、今年はかつてないレベルの上げ幅になります。

企業においては原材料費等の高騰に加え、人件費も大幅なアップとなることが予想されます。

経営者は頭が痛いところでしょうが、これはなにも経営者だけの問題ではありません。

従業員全員が一丸となって、今まで以上に収益を上げるにはどうしたらいいか考えるべき時だと思います。

無駄な経費を削ったり、仕事の進め方を見直してひとりひとりの「仕事の質」を上げようとすることは

もちろん大切ですが、まずは全員でしっかり目的と課題を共有するところから始めてはいかがでしょうか。

僕はニュースで知ったのですが、オリンピックの女子ビーチバレー決勝戦の出来事をご存じでしょうか？
ブラジルとカナダの選手がネット越しに激しい口論を始めて、審判が間に入っても事態は収束せず、不穏な
空気になったそうです。その時、機転を利かせたDJが、**ジョン・レノンの『イマジン』**を流しました。

「愛と平和」の歌として世界中で親しまれる楽曲です。すると、彼女たちの表情が一気に和らいで、観客も
メロディーに乗せて大合唱。騒動は収束し、試合は再開されたのです。音楽の力って素晴らしい！(^^)/

「**音楽は世界の調和を学ぶ学問だ**」という、あるマンガのセリフが印象に残っています。

それは二ノ宮知子さんの「**のだめカンタービレ**」の中での千秋先輩（指揮者）の言葉です。(^^)

フルトヴェングラーもそんな人と人との「調和」の中に感動を覚えたから前述の言葉を残したのかもしれませんが。

従業員同士、そして経営者と従業員、思いを共有することで調和を図れば、きっと仕事にも
感動があるのではないのでしょうか。

「**感動いっぱい、感激いっぱいのいのちを生きたい**」とは、僕の好きな**相田みつを**さんの言葉。

感動のある仕事をしたいものですね。(^^)